

# TOEIC 演習 通信

発行：大城賢 ([koshiro@edu.u-ryukyu.ac.jp](mailto:koshiro@edu.u-ryukyu.ac.jp)) No. 1

## TOEIC とはどんな試験か

私がこれまで担当した TOEIC 演習のクラスは 4 年次、3 年次の学生が多数を占めています。今回は 1 年次の学生が半分近く登録しています。4 年次、3 年次の学生は、TOEIC がどんな試験かはおおよそ知っていることと思います。また、既に受験した学生もいるかもしれませんが、前述したように、今回は 1 年次の学生も多く、初めて TOEIC に挑戦するという学生もいるかもしれません。そこで、TOEIC がどんな試験なのかを簡単に説明します。

TOEIC は Test of English for International Communication の略称で、日本では「国際コミュニケーション英語能力テスト」と訳されています。この試験の運営を行っているのは Education Testing Service(ETS)というアメリカの非営利団体です。この団体は TOEFL の開発にも携わっています。

TOEIC は、1979 年に日本経済団体連合会と当時の通産省の要請に応えるかたちで開発されました。試験は年 10 回、ほぼ毎月 1 度のペースで実施されています。日本経済団体連合会の要請ということからも予想できるように、試験の内容はビジネスに関わるものがほとんどです。日程などの情報は国際ビジネスコミュニケーション協会(IIBC)のサイトで見るができます。

みなさんの中には TOEIC という 1 種類だけと思っている人がいるかもしれません。しかし、現在では、通常の TOEIC (これは「リスニング」と「リーディング」を試験するものなので L&R という) のほかに、「話す」「書く」の能力を図ろうとする TOEIC S&W、さらに、初級レベルの受験者を対象とした TOEIC Bridge があります。

IIBC によれば L&R の受験者数は 1984 年度に約 59,000 人だったものが、2014 年度には約 2629,000 となっているそうです。凄まじい勢いで増加しています。

通常の TOEIC は、前述したように、リスニングとリーディングの試験からなり、試験時間はトータルで約 2 時間です。リスニングは試験時間 45 分で 100 問の問いに答えます。リーディングは試験時間 75 分でやはり 100 問の問題が出題され、全てマークシート方式です。

※このクラスでは、90 分間、ひたすら PC 学習を行います。私が何か説明することはほとんどありませんので私のフラストレーションが溜まっていきます。ストレス解消のため(笑) 通信という形で皆様に必要なことを伝えていきたいと思っています。